



## 水上池付近の鳥 (62)

4月11日 昼

水上池では、キジとコジュケイの声を聞きました。ヨシガモはまたいませんでした。もういなくなってしまうようです。

カイツブリ、ゴイサギ(成2幼1)、ダイサギ(1)、コサギ(2)、アオサギ、カルガモ、コガモ、ハシビロガモ、コジュケイ、キジ、バン、オオバン、ケリ、タシギ、コアジサシ、キジバト、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、エナガ、シジュウカラ、オオジュリン、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス。

最近、自衛隊の中のアオバトを見ない日が多くなりました。アオバトがよく止まる木に黄色い花がたくさん咲いてから、見にくくなったことも少し関係あるけど、もう山へ戻り始めているのでしょう。

ウワナベ池にはカイツブリ、カルガモ(4)、コガモ(オス1メス2)、オカヨシガモ(オス1)、ハシビロガモ(オス6メス5)、ホシハジロ(オス1メス2)、キンクロハジロ(35)、コジュケイ、キジバト、アオバト、コゲラ、ツバメ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス、エナガ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラスがいました。(前田健)

## 春日山

4月12日の朝、春日山に行きました。柳生街道の車が通れる方の道を登って行きました。

入口のところの藪の中からアオジの「チョッ・ピー・チョ・チョ・ピー・・・」というさえずりが聞こえてきました。さえずっているところを見てやろうと思ってしばらくその辺りを見ていたら、藪の中から出てきて、またさえずり始めました。アオジのさえずりを聞いたのは、この時が今年初めてで、ウワナベ池の周りにたくさんいたアオジは、まださえずらないまま数が減っています。

少し登っていくと、カケスのジャーという声が聞こえてきました。道ぞいには鳥が巣を作るのによさそうな、穴のあいた木がいくつかありました。

妙見宮のもう少し上へ行くと、「チッ、チッ」という声が聞こえてきました。姿が見えたので、アオジだろうなあとと思いながら双眼鏡で見ると、なんとなく感じが違いました。ひょっとするとこれがクロジのメスか?と思ってよく見ると、アオジのように黄色くなく(でも少し黄色味はある)、尾羽や腰は赤味の強い茶色でした。しばらくしたら飛んでしまったので図鑑を見ると、クロジは外側の尾羽も茶色い(アオジは白い)と書



いてありました。そこまでは見ていませんでしたが、確かにクロジのメスのようでした。クロジは今までにさえずりを聞いたことはあったけれど、姿を見たのはこれが初めてです。  
(前田健)

## 奈良公園のサクラ (4月12日)

4月12日(日曜日)は、曇り空の、鬱陶しい、薄ら寒い天気でした。朝から散歩に出て、奈良公園一帯を歩きました。

★先週の日曜日には満開だったソメイヨシノ(染井吉野)は、公園の平坦部では、ほとんど散ってしまいました。ソメイヨシノより数日遅れて咲くヤマザクラ(山桜)も、はや葉桜になりました。オオシマザクラ(大島桜)はまだかなり咲き残っています。奈良公園一帯にいちばん多いココノエザクラ(九重桜)は1週間ほど前に咲きはじめ、4月12日現在、満開に近い状態です。なお、奈良公園でココノエザクラと呼ばれている桜(看板などに「九重桜」と書かれている)は、ほんとうのココノエザクラとかなり異なっています。奈良の、いわゆるココノエザクラの正しい品種名は何か、以前から気になっているのですが、まだ分かりません。ご存じの方がおられたら教えてください。

★この季節には、遠目に、春日山のサクラがよく目立ち、照葉樹林内にもサクラが案外によく生えていることが分かります。その多くはヤマザクラと思われますが、周遊道路沿いなどにはソメイヨシノも植えられていますので、その花も見えているのでしょう。春日山のサクラの開花時期は奈良公園の平坦部よりも数日、遅れるようです。春日山では、いま、種々の落葉樹の新緑がさまざまな色調をなしています。常緑樹も新芽が出て、古い葉のくすんだ緑色と、対照的です。この季節の春日山は、種々の色が混じって、たいへん賑やかな眺めです。

★奈良市雑司町の市立鼓阪(つづか)小学校の正門の近くにギョイコウ(御衣黄)という名の珍しいサクラが植わっています。御衣黄は江戸時代から知られている古い里桜の品種で、通常の里桜と異なり、花卉が緑色を帯びています。鼓阪小学校のものは胸高直径が20cmほどの、かなり古い木です。4月12日は、花には少し早すぎ、蕾が少し開いた状態で、数日後が見頃になると思われました。鼓阪小学校の正門付近には、その他にもいろいろな桜が植わっています。ココノエザクラはちょうど満開でした。ソメイヨシノも少しだけ花が残っていました。近くのカンザン(関山)は咲き始めていました。ナラノヤエザクラ(奈良八重桜)はまだ蕾が固い状態でした。

★奈良公園の鵜池(浮見堂の池)の北側にある青葉茶屋の入口にジョウニオイ(上匂)という珍しい品種のサクラが生えています。花は白く、やや大きく、重弁で、よい香りがあります。青葉茶屋の女将さんの話によると、三十数年前に奈良県の公園管理の人が植えたのだそうです。ゴミ運搬の車がひっかかるので、数年前に道の方に突き出た太い枝を切った由です。同じときに植えたと思われる、ほぼ同じ太さのジョウニオイの木が2本、青葉茶屋の東北(浅茅ヶ原の近く)の小川のほとりにも生えています。4月12日に、この3本のジョウニオイは、いずれもほとんど満開でした。  
(北川尚史)